



# 尚操



〈発行所〉  
 鳥取県立倉吉西高等学校  
 尚操会  
 〒682  
 鳥取県倉吉市秋喜20  
 倉吉西高等学校内  
 印刷 (有) 矢積印刷



6月1日 県高校総体

↑  
サッカー

←ハンドボール

## 花・水・木

国際化の時代を先取りして、西高に英語コースが生まれて久しい。外国で活躍している卒業生の有無はさておき、日本を離れると出身地、出身校よりも「日本人」として誇りをもって行動したい。会員の皆様の中にも、海外旅行は珍らしくない方もあると思う。言葉の壁はあるが、通訳を通して不自由はない、然し自分の言葉で語り意志の疎通ができれば、感動このうえない、まさに国際交流の一翼を担った思いがする。

そこで私が持参するものは、かつて京都大学教授・故藤本浩之輔氏が「世界の文化遺産」といわれた、手作りの「お手玉」である。古い着物の端布の色と柄、ジュズの音色と形が外国人に好評である。二ヶ三ヶと手玉にとる技も拍手かっさいを受ける。勿論日本でも「珍らしい、懐しい」と賞賛に値する言葉を頂くので、いくら作っても手許に残らない。「お手玉」でさえ知らない国でも、知らない人でも対話の糸口を作ってくれる。「日本人」として行動できる若者を多く社会に送り出してほしい。母校の教育に敬意を表し、大いに期待している一人である。

(西高第二回 梓島 和江)

【昭和二年度】

本年度から学級数の増加により三学級制度、定員六〇〇可し、生徒総数四七〇名になった。この年度の補習科の生徒定員増にともない校舎の増築、生徒物置、校具その

80周年記念誌「立志」から

本年度実業科では、従来め、校地に隣接する土地（やすくした。また、生徒の勤勉の精神から、本年度、なくしていった。

二 昭和初期の高等

同窓生のたより 歳を忘れて

三月も終りとなりましたのに、東京は今朝よりみぞれまじりの雪で、寒さも一入です。この度は、ご多忙のところ早速に高操会八十周年記念誌「立志」を送りいただきました誠に有難うございました。実は心待ちして居りましたとでもうれしうございました。早速とりついて一ページくつきい余戸谷町の校舎当時に返り、目頭があつくなりました。当時の通学を思い出します。真田校長先生を初め諸先生（今は故人）にお目にかかり年齢を忘れてしまいました。亡くなられた諸先生の分まで一年でも永くがんばって生

きて行き度く存じます。来年は鳥取に帰って見る予定で居りますのでクラスのお方にもお目にかかれるとたのしみにして居ります。ほんとうに有難うございました。大切に保存いたします。厚くお礼申し上げます。

東京都 熊坂 とよ (倉女十八回)

自分の姿に感無量

創立八十周年記念誌を昨日お送り頂きまして有難うございました。早速読ませて頂きました。昭和十二年の林間授業の写真を見て思わず涙が出ました。井上校長の前で、前列右から三人目にいる自分の姿を見た時、感無量です。



昭和15年4年 旧職員



昭和12年 林間授業

えし／＼眺めております。私は昔の余戸谷町の校舎だけしか知りませんが、その後の発展を心からおよろこび申し上げます。中島恵美子先生はお元気で尚操会にお力ぞえ下さっておられる由、有りがたいことです。何分多くの生徒の中の一人だった私は先生の御記憶にないことは重々承知の上ですが、私は先生の指先がとてもしきれいで桜貝のような爪を今でもおぼえています。私は、昭和十二年入学、一年一組一番という出席番号でした。

京都市 米田 睦江 (倉女二十七回)

くりかえし眺めて

まもなく桜の季節を迎えますが、あの打吹公園の花も永い間目にすることもなく月日をすごして参りました。この度、西高八十周年の記念誌を申し込みましたところ、早速お送りいただきました有りがとう存じます。なつかしさ一杯でくりか

山梨県 小幡 絹子 (倉女二十四回)



倉女25期の学校見学

学校紹介ビデオ

校歌テープ貸し出します 同級会等にご利用下さい。学校見学も歓迎いたします。事務局(☎二八八一八二)に連絡してください。

# 支部だより

## 関西支部

### 第三回総会

#### ―震災をこえて―

先ず阪神大震災で死亡された会員のご冥福をお祈りし、被災された会員の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。一年半経過しましたが、仲々復旧の進まない中をどのようにお暮しかと心配しています。

前年より立案し、案内状の原稿を印刷に出すばかりになっていた矢先の大地震で、総会などは中止しようと思いましたが、震災地の方々へお見舞い申し上げたく、消息も把握せねばと思ひ決行いたしました。

昨年七月十六日、京都木屋町の料理旅館鮎鶴において開催いたしました。祇園祭宵山の日で鈴や山の提灯に燈がともり、コンチキチンのおはやしも近く聞こえる所です。東山・鴨川をのぞむ鮎鶴三階の大広間は予想をこえた参加者を迎え、二〇〇名の大広間も華やかな女性でいっぱいになり圧倒されるばかり、男性と言え、永江校長先生と道祖尾新会長さんのお二人きりでした。副会長の米山重子さんと計三名の来賓をお迎えし、参加会員は二二〇名でした。中島恵美子先生のご訃報をおつた



えせねばならない悲しさ...京都にお迎えしたかったです。米山さんがお持ち下さった在りし日のお写真を廻して前会長先生を偲びつつの一日でした。淋しい思いもありましたが、来賓お三方の余興の笑いで救われました。次回の再会を約束してそれぞれのグループは青山の京の街へ散って行きました。

倉女二十八期生  
前支部長 川口 智子



## 関東支部

### 八年十月

#### 六回目を開催

高操会関東支部も、今年の同窓会は、第六回を迎える事となりました。平成三年に、倉女二十九回

生の前沢佳枝さんの多大な御尽力により、設立され盛大に行われました。そして、この会の運営も今では主に、倉女から西高へとバトンをタッチされて、今年も西高二期生が同窓会準備学年となりました。丁度この準備学年が、還暦の年に当たるものですから、同期生が何度か集るうちに、十代の学生気分に戻って、本当に楽しく、いろいろ打合わせをいたしてあります。昨年度提案されました連絡員を、各学年におき、同期生の住所の確認をお願い致しましたが、労を惜しまず、ご協力下さり、かなり正確な名簿が出来たのではないかと思います。又、この事により、横のつながりが深まり、予想以上の親睦の輪が広まっている様子に、今後の当会の発展につながるものと、私達当番学年として、大変うれしく思っています。

又、男性会員も出席されるようになり、いよいよ活性化されるものと期待しております。遠くふるさとを離れても、年一回、ひとつの学舎から集った人々が、一同に会す事は、心温まるものがあります。今年も又、真心通う楽しい同窓会となりますよう、当番学年として、準備を進めてまいります。

西高二回  
関東支部長 平岩 洋子

## 小鴨支部

### セミナーハウス見学

昭和五十七年、生田文子さん(高女二十三回)他世話人の呼びかけで結成された小鴨支部は、今五〇〇余名の会員があります。地元であり乍ら、新しい校舎を知らない方もあります。年一回の総会で、校舎見学の話がもち上がり、平成五年の西高祭当日、少人数ではありましたが、教頭先生に案内をご案内して頂きました。中でも、木の香りもただよう木造建築のセミナーハウスには感動しました。窓から眺める大山、田園と近代的工業団地が調和して、後輩達の研修の最適な環境でもあります。男女共同参画型機能を備えた宿泊施設もあり、クラス会、学習会等一般にも公開して頂けるそうです。皆様もぜひ御利用になつては如何でしょうか。母校とのきずなを強くしたいものです。

西高二回  
小鴨支部長 梶島 和江



## 東伯支部

### 第五回総会を迎えて

平成七年十二月十日、東伯町社会福祉センターにて開催し、本日より校長他一名、会員十七名の参加を頂きました。校歌斉唱に始まり、学校紹介ビデオの視聴、会員の余興、支部役員改選、各地区名簿の整理等を行いました。当支部では二年に一度総会を開催することになっており、約四〇〇名の会員に地区役員さんが手分けをして連絡をしております。

第六回総会(平成九年)は当支部会員の参加増・交流を兼ねて、高操会総会にギブアンドテイクで臨みたいと考えています。

西高二七回  
東伯支部長 大久保和観



# 母校はいま……

## 進路

### 国公立大と私立大の合格者数 いずれも新記録

平成七年度の進路実績について、国公立大学三十八名、私立大学一四五名(現浪入合格者延数)と過去最高でした。数字の上では、一クラス全員が国公立大学に合格し、三年生二人に一人が私立大学に合格したことになります。また、国公立短大十八名、私立短大五十八名、高専医療専門二十八名、保育専門五名、各種専門四十七名、就職十八名でした。

国公立大学などの合格者数が伸びた理由の一つは、全職員で取り組んでいる「生活Ⅱ学力」「授業中心Ⅱセンター試験高得点」という指導体制を信じ、最後まで頑張る生徒が増えたからです。現在取り組んでいる西高の進路

指導体制についてまとめると次のようになります。

進学は子供たちが親から一人立ちするための準備期間です。ですから、知名度の高い大学ではなく、社会で活躍するための土台となる、良い教育が受けられる学校を勧めています。先入観や、合格しさえすればと言う単純な受験指導ではなく、最新の正確な情報に基づき、豊富な講座数・充実した教育環境のみならず、大学の出口(就職)にも目を向け、進路指導しています。大学等に進学する生徒が増えれば、企業にとっては、最良の教養・知識・技術を身につけられる大学・学科をでたかどうか判断材料になりますので、大学・短大選びは慎重にしたいものです。伴走教育を合言葉に、担任が中心となって生徒一人一人の将来を考えた進路指導をしています。

進路指導部 竹ノ内 誠一

## 平成八年度

### 尚操会総会案内

とき 八月十八日(日) 十時から  
ところ 倉吉シティホテル 会費 三,〇〇〇円  
※お誘い合せ、多数ご参加下さい。



## 部活動

### 全国高文化祭にむけて

平成十年の夏には、鳥取県で全国高等学校総合文化祭が行われます。これは、文化部の全国大会で、運動部のインターハイ以上の約二万人が集まります。高校生に対して各種の芸術文化活動の発表の場を提供することにより、芸術文化活動を通して生徒相互の交流・親睦を図ることを目的として開催されるものです。文化部活動が低調な鳥取県でこの全国総合文化祭を成

強化策が取られ、本校は、吹奏楽、演劇、放送、書道、将棋の各々が指定されました。

今年、放送の朗読部門、書道、将棋の女子団体、囲碁で女子個人が北海道で行われる全国高校総合文化祭に参加します。

### インターハイ 出場十二名

第三十一回県高等学校総合体育大会は六月一日から三日まで県内各地で行われた。

この大会で八月に山梨県で行われる全国高校総体に出場を決めた競技は、昨年の福島国体で総合準優勝を成し遂げた弓道男子団体と個人及び女子個人、自転車競技の団体ロード及び個人種目、レスリングの個人です。

あと一歩で出場権を得られたものは、剣道女子団体、弓道女子団体、卓球男子個人です。

また、優勝チームと対戦し、惜しくも敗れた競技は、二十数年ぶりに優勝候補の米南商を破った、ソフトボール女子、バスケットボール男子、バレーボール男子です。他の競技もあと一歩しのがんばりで、もう一つ上に行けたチームもたくさんありました。あと一歩での敗退は、普段の練習への取り組みの違ひではないかと感じます。「やればできる」ことを忘れず、頑張りたいものです。

生徒会部 広見 徹

## 新会員名簿「尚操」

平成8年8月発行

頒価 2,900円 (含送料 400円)

ご入用の方は、事務局名簿係までご連絡下さい。

☎(0858) 28-1811

## あしがき

がくあじさいが雨の中に映えています。同窓生の皆様はお変わりなくお過ごしのことと思います。私は十五年ぶりに母校に帰ってきました。いろいろな場所が懐かしく思いだされます。同窓生との出会いは嬉しく、これからふれあいを大切にして、母校で同窓会事務局の仕事に精一杯努力したいと思っています。原稿をお寄せ頂いた皆様、有難うございました。

事務局 西高九回 森本寛子